

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	25	1	基本事務事業名	市営住宅管理事務	事務事業名	市営住宅入居者管理募集事務	公的関与	5	シート作成日	平成27年7月1日			
	部局名	建設部		課名	住宅課	主務課長名	原田 勝	シート作成者名	田上 義彦					
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input checked="" type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		4. 生活基盤の充実したまちづくり			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)住宅施策の推進			<input type="radio"/> 1 該当		平成 17 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(4)市営住宅の整備・活用			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		公営住宅法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市営住宅入居希望者(市民及び勤務地を市内に有する方)										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	公営住宅の本来の目的である住居に困窮する低所得者等に低廉な家賃で住宅供給を行います。									
				今年度	市民及び勤務地を市内に有する方を対象に公募を行い、公平性の観点から公開抽選で入居者を決定します。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 市営住宅入居募集に係る広報【広報誌、ACN(ケーブルテレビ)自主放送、市ホームページ等]													
	② 入居申込み受付													
	③ 入居者認定審査													
	④ 公開抽選(入居決定)及び入居手続き													
	⑤ 募集外に随時入居相談を受付													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標				
	市営住宅入居率		入居戸数/管理戸数-政策空家		%		目標	100	100	100	100			
							実績	98.2	99.1					
							目標							
							実績							
							目標							
						実績								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	8	土木費	項	4	住宅費	目	1	住宅管理費
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金		千円	千円	千円								
		県支出金		千円	千円	千円								
		地方債		千円	千円	千円								
		その他特定財源		千円	千円	千円								
		一般財源		千円	千円	千円								
	計(A)			0 千円	0 千円	0 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.000 人	5,882 千円	1.000 人	5,774 千円	0.500 人	2,905 千円						
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)			5,882 千円	5,774 千円	2,905 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価		
		1.	2.	3.	4.	総合評価	○ 少ない	● 大きい	現在管理している市営住宅(政策空家を除く)を運用し、居住に困窮する低所得者等に生活の安定化を図る入居者募集事務は必要不可欠です。	○ 少ない	● 大きい			
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ ない	● ある	募集団地によって、申込数にばらつきはありますが、今後も入居希望者のために、継続して募集を行う必要があります。	○ 少ない	● 大きい			○ 少ない	● 大きい			
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ある	● ない		○ ない	● ある		○ ない	● ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ いる	● いない		○ ある	● ない		○ ある	● ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いえない	● 見える		○ いる	● いない		○ いる	● いない				
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● 見える	7月に4戸、2月に7戸の入居募集を行いました。退去者との関係から概ね適切な運用ができていると思われま。	○ 目標に比べて劣っている	○ 高い	● 適当	○ 目標に比べて劣っている	○ 高い	● 適当			
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ する	● しない		○ あまり上がっていない	○ できる	● できない	○ あまり上がっていない	○ できる	● できない			
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ できない	● できる		● 概ね達成している	○ ある	● ない	● 概ね達成している	○ ある	● ない			
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ 十分達成している	○ 十分達成している		○ 十分達成している	○ ある	● ない	○ 十分達成している	○ ある	● ない			
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 高い	● 適当	退去による空家が発生した場合は入居要望に応えられるよう速やかに修繕等を行っています。が、老朽化に伴い経費が増加傾向にあります。	○ 目標に比べて劣っている	○ 高い	● 適当	○ 目標に比べて劣っている	○ 高い	● 適当			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ できる	● できない		○ あまり上がっていない	○ できる	● できない	○ あまり上がっていない	○ できる	● できない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ ある	● ない		● 概ね達成している	○ ある	● ない	● 概ね達成している	○ ある	● ない			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ ある	● ない		○ 十分達成している	○ ある	● ない	○ 十分達成している	○ ある	● ない			
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	退去による空家が発生した場合は入居要望に応えられるよう速やかに修繕等を行っています。が、老朽化に伴い経費が増加傾向にあります。	○ 高い	● 適当	○ 高い	● 適当					
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない		○ できる	● できない	○ できる	● できない					
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない	○ ある	● ない					
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない	○ ある	● ない					
ACTION	評価点	一次評価					二次評価							
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
	今後の方向性	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	当面の課題	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	近年の経済不況による雇用情勢の悪化などで、低廉な家賃の公営住宅への関心は高まっていますが、応募者数は募集団地によって変動している状況です。退去者については減少傾向にあるため、入居要望に応えきれない場合もあります。					市営住宅は、住宅に困窮する低所得者に対し、低廉な家賃で住宅を供給し、生活の安定を図るとい、セーフティネットの役割も担っています。入居者決定は、公開抽選により、公平性の確保は必要です。改革案、実行計画により事務を進めてください。							
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	25	—	2	基本事務事業名	市営住宅管理事務	事務事業名	市営住宅管理事務	公的関与	5	シート作成日	平成27年7月1日			
	部局名	建設部		課名	住宅課		主務課長名	原田 勝		シート作成者名	田上 義彦				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input checked="" type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		4. 生活基盤の充実したまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)住宅施策の推進				<input type="radio"/> 1 該当		平成 17 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(4)市営住宅の整備・活用				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		公営住宅法			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市営住宅入居者											
		目的(どうい う状態に したいのか)		最終的	所管する市営住宅を適正に管理し、入居者に良好な住環境を提供します。										
				今年度	予算の範囲内で適切な修繕管理に努め、良質な市営住宅環境を維持します。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 市営住宅の老朽化に伴う修繕														
	② 団地内の市有地維持管理														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
	修繕率		修繕戸数/管理戸数		%		目標	0	0	0	0				
							実績	32	26						
							目標								
							実績								
							目標								
						実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	8	土木費	項	4	住宅費	目	1	住宅管理費
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金			千円			千円			千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源	39,292 千円		40,623 千円		39,039 千円								
		計(A)	39,292 千円		40,623 千円		39,039 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.500 人	8,822 千円		2.000 人	11,549 千円		2.000 人	11,618 千円					
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		48,114 千円		52,172 千円		50,657 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	管理している市営住宅の約6割が耐用年数を経過しており、老朽化が進んでいます。適時適切な修繕対応と併せて計画的な改修や修繕工事も必要となっています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	老朽化により修繕費が年々増加せざるを得ない状況です。コスト減を図りながら、よりよい維持保全を実現する必要があります。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	限られた予算なので、全ての修繕に対応するのではなく、緊急性を考慮し適切な修繕を行っています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	老朽化による1件あたりの修繕費が年々増加傾向です。そのための家賃収入の約5割を修繕費が占めている状況なので、コストを抑えながらもよりよい維持管理を計画し、それを実行していく必要があります。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	入居者に良好な状態で市営住宅を供給するためには、施設・設備の修繕は欠かすことができない業務です。同時に、より計画性を持ちコスト削減を図る必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	老朽化が進む中、効率的な市営住宅の管理運営を団地ごとに検討し、用途廃止や集約化、民間活力の活用など具体的な方向性を見出す必要があります。					市営住宅は、老朽化が一段と進んでいますが、入居者に安心・安全で、住みやすい環境を提供するため、計画的な改修や入居者交代時の適正な修繕は必要です。長寿命化改善事業などによるコスト削減に努め、改革案、実行計画により事務を進めてください。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	25	—	3	基本事務事業名	市営住宅管理事務	事務事業名	市営住宅整備事務	公的関与	5	シート作成日	平成27年7月1日			
	部局名	建設部		課名	住宅課		主務課長名	原田 勝		シート作成者名	田上 義彦				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的業務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input checked="" type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		4. 生活基盤の充実したまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)住宅施策の推進				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 17 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(4)市営住宅の整備・活用				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		公営住宅法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市営住宅入居者											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	所管する市営住宅を適正に管理し、入居者及び市民に良好な住環境を提供します。										
				今年度	退去し空き家となった市営住宅の改修を効率的に実施します。今後の整備指針となる市営住宅ストック総合活用計画に沿って住宅整備を行います。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 空き家の改修														
	② 外壁や屋上の防水														
	③ 整備方針の策定														
	④ 市営住宅ストック総合活用計画														
	⑤ 公営住宅整備事業(東条団地新築工事、長寿命化改善工事等)														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標						
	市営住宅入居率		入居戸数/管理戸数-政策空家		%	目標	100	100	100	100					
						実績	98.2	99.1							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	8	土木費	項	4	住宅費	目	1	住宅管理費
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金	89,359 千円		61,909 千円		292,647 千円								
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	85,177 千円		65,870 千円		292,647 千円								
	計(A)	174,536 千円		127,779 千円		585,294 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.500 人	8,822 千円	2.000 人	11,549 千円	2.000 人	11,618 千円							
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)		183,358 千円		139,328 千円		596,912 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	○ 少ない	● 大きい	住宅に困窮する低所得者等は依然増加しており、現在の住宅に対応した市営住宅の整備が必要な状況です。	○ 少ない	● 大きい		
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい	市営住宅の住環境を整備することは入居者のみならず、周辺地域の住環境にも良い影響を与るとともに、集約化による管理運営は大きな効果もあります。	○ 少ない	● 大きい						
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある		○ ない	● ある						
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない						
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない		○ いる	● いない						
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる	既存の中層団地の外壁や屋上防水工事等は年次的に整備を行うことで長寿命化を図っていきます。	○ いえない	● いえる						
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	● いえる		○ いえない	● いえる						
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない		○ する	● しない						
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる		○ できない	● できる						
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている	既存在の中層団地の外壁や屋上防水工事等は年次的に整備を行うことで長寿命化を図っていきます。	○ 目標に比べて劣っている								
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない		○ あまり上がっていない								
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している		○ 概ね達成している								
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	● 十分達成している		● 十分達成している								
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	建て替えによる整備に際しては、集約化や民間活力の導入(家賃補助制度)などの手法を活用していく必要があります。	○ 高い	● 適当						
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない		○ できる	● できない						
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない						
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない						
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
		○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止	○ 縮小		○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止					
	当面の課題	所管の市営住宅のうち、耐用年数30年を既に超えている住宅が全体の約6割を占めており、改修・改善などの早期対応が迫られています。整備計画の策定を行うとともに民間活力の導入や用途廃止など効率的な運営方法の検討が必要です。					市営住宅ストック総合活用計画に沿って、東条団地の建替事業や長寿命化改善事業が積極的に進められています。今後においても、改革案、実行計画により事務を進めてください。						
	改革案と実行計画	老朽化した住宅が更新時期を迎えるため、団地ごとに整備目標を定め、市営住宅ストック総合活用計画に沿って、東条団地の建替事業や長寿命化改善事業を進めています。今後も総合的な活用計画に沿った整備を推進します。											
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	25	—	4	基本事務事業名	市営住宅管理事務	事務事業名	市営住宅使用料徴収事務	公的関与	5	シート作成日	平成27年7月1日			
	部局名	建設部		課名	住宅課		主務課長名	原田 勝		シート作成者名	田上 義彦				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input checked="" type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		4. 生活基盤の充実したまちづくり		実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(2)住宅施策の推進		<input type="radio"/> 1 該当		平成 17 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
		主要施策		(4)市営住宅の整備・活用		<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		公営住宅法					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市営住宅入居者											
		目的(どうい う状態に したいのか)		最終的	市営住宅使用料の徴収率向上										
	事業の 活動内容	具体的などのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
① 督促・催告・臨戸徴収の実施															
② 滞納事務整理の手順の明確化															
③ 高額滞納者に対する徴収強化(本人及び連帯保証人相談・指導)															
④ 悪質な長期滞納者に対しては、法的措置の検討(弁護士相談・手順確認)															
⑤															
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
	徴収率(現年)		徴収額/調定額		%	目標	90	90	91	92					
						実績	89	90							
	徴収率(過年)		徴収額/調定額		%	目標				10					
						実績	5.4	6.3							
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	8	土木費	項	4	住宅費	目	1	住宅管理費
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金			千円			千円			千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源			307 千円			440 千円			253 千円				
		計(A)			307 千円			440 千円			253 千円				
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.000 人	5,882 千円		1.000 人	5,774 千円		1.000 人	5,809 千円					
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)				6,189 千円			6,214 千円			6,062 千円					

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		1.	2.	3.	4.	総合評価	○ 少ない	● 大きい	住宅使用料の負担の公平性を図る必要があるため、徴収率の向上を図る必要があります。	○ 少ない	● 大きい		
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい	長期や悪質な滞納者(高額や無断退去)に対しての徴収対策として法的措置の導入も視野に入れ、公平性の確保を図る必要があります。	○ 少ない	● 大きい			○ 少ない	● 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある		○ ない	● ある						
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない						
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない		○ いる	● いない						
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる	長期や悪質な滞納者(高額や無断退去)に対しての徴収対策として法的措置の導入も視野に入れ、公平性の確保を図る必要があります。	○ いえない	● いえる		○ いえない	● いえる			
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	● いえない	○ いえる		○ いえない	● いえる						
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない		○ する	● しない						
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる		○ できない	● できる						
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている	現年度の徴収率に関しては積極的な臨戸徴収で徴収率が上向きつつありますが、過年度や高額滞納者からの徴収など課題があります。	○ 目標に比べて劣っている								
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない		○ あまり上がっていない								
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概ね達成している		● 概ね達成している								
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している		○ 十分達成している								
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	費用をかければ効果があがるとは限らないため、実施手段の改善を図る必要はありません。	○ 高い	● 適当		○ 高い	● 適当			
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない		○ できる	● できない						
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない						
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない						
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	4	3	3	4	A	4	4	3	4	A		
		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等				
	当面の課題	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
		地道な臨戸徴収や納付指導に努めた結果、徴収率の向上が図られていますが、高額・長期滞納者については、徴収強化を図る必要があります。					徴収率の向上が図られています。今後とも徴収強化に努め、阿波市税外債権管理マニュアルによる、適正な債権管理を図ってください。						
改革案と実行計画	滞納者に対して適正な債権管理を行うために、阿波市税外債権管理マニュアルを活用し、法的措置等を行うなどの検討も必要です。												
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	25	—	5	基本事務事業名	老朽危険空き家除却支援事務	事務事業名	老朽危険空き家除却支援事務	公的関与	9	シート作成日	平成27年7月1日			
	部局名	建設部		課名	住宅課		主務課長名	原田 勝		シート作成者名	田上 義彦				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input checked="" type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		4. 生活基盤の充実したまちづくり		実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(2)住宅施策の推進		<input type="radio"/> 1 該当		平成 25 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
		主要施策		(2)良質・安全な住宅建設及び改修の促進		<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		阿波市老朽危険空き家・空き建築物除却支援事業補助金交付要綱					
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		老朽危険空き家・空き建築物の所有者等											
		目的(どうい う状態に したいのか)	最終的	地震等による倒壊で道路を閉塞する恐れのある老朽化して危険な阿波市内の空き家及び空き建築物について、その所有者等が解体・撤去又は処分に係る工事を行う場合に、その経費の一部を助成することにより、地域の防災性の向上や住環境の整備改善を図ります。											
			今年度	老朽危険空き家・空き建築物の除却を推進することで、地域の防災性の向上や住環境の整備改善を図ります。											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 老朽危険空き家・空き建築物除却支援事業補助金申請に係る広報【広報誌、ACN(ケーブルテレビ)自主放送、市ホームページ等】														
	② 補助金申請受付および認定審査														
	③ 補助金交付決定														
	④ 実績報告														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
	空き家・空き建築物除却件数				件	目標	2	2	2						
						実績	1	3							
						目標									
						実績									
						目標									
実績															
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	8	土木費	項	4	住宅費	目	1	住宅管理費
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金	298 千円		1,004 千円		800 千円								
		県支出金	149 千円		502 千円		400 千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	149 千円		503 千円		400 千円								
	計(A)		596 千円		2,009 千円		1,600 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	2,941 千円		0.500 人	2,887 千円		0.500 人	2,905 千円					
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		3,537 千円		4,896 千円		4,505 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	事業の推進によって、地域の防災性の向上や住環境整備の改善につながるため、事業継続の必要性があります。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	市民(所有者等)が事業内容について理解を示していけば、成果の向上が期待できると思われます。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	対象物件の把握ができていないため、目標設定は難しいですが、今後の状況によって、有効的な事業の運用に努めていきます。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している				<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	補助額が、対象経費の4/5以内で、上限額は80万円となり、除却する建物によって自己負担額も変わってくるため、申請者が解体工事費等について施工業者と事前に検討する必要があります。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	4	4	3	4	A	4	4	3	4	A		
		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
		補助対象となる建築物が少なく、解体費用には自己負担も発生するため、空き家除却を推進していく上で、広報等での周知を継続し、市民に事業の趣旨を理解してもらう必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	空き家除却に際しての相談や問い合わせについては、予算を考慮しながら随時対応していく方針です。					老朽危険家屋は、倒壊の危険性のみならず犯罪や火災を誘発する恐れが高く、地域の安全・安心の住環境づくりのためにも必要な事業です。周知や地域と連携した取り組みが必要と思われます。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	25	—	6	基本事務事業名	住宅リフォーム補助金事務	事務事業名	住宅リフォーム補助金事務	公的関与	9	シート作成日	平成27年7月1日			
	部局名	建設部		課名	住宅課		主務課長名	原田 勝		シート作成者名	田上 義彦				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input checked="" type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		4. 生活基盤の充実したまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)住宅施策の推進				<input type="radio"/> 1 該当		平成 24 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(2)良質・安全な住宅建設及び改修の促進				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		阿波市住宅リフォーム補助金要綱			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		一般住宅所有者											
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	住宅環境の向上に資するとともに、阿波市内の消費活動及び地域経済の活性化を図ります。										
				今年度	阿波市内の施工業者を利用して一般住宅のリフォーム工事を行う方を対象に、予算の範囲内で補助金を交付します。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 住宅リフォーム補助金申請に係る広報【広報誌、ACN(ケーブルテレビ)自主放送、市ホームページ等】														
	② 補助金申請受付および認定審査														
	③ 補助金交付決定														
	④ 実績報告														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
	リフォーム実施率		補助額/年間予算		%	目標	100	100	100						
						実績	92.9	96.1							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	8	土木費	項	4	住宅費	目	1	住宅管理費
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金		千円	千円	12,000	千円								
		県支出金		千円	千円	千円									
		地方債		千円	千円	千円									
		その他特定財源		千円	千円	千円									
		一般財源		7,433	7,684	千円	千円								
		計(A)		7,433	7,684	12,000	千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	2,941	2,887	2,905	千円								
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0	0	0	千円									
全体事業費(A+B)			10,374	10,571	14,905	千円									

		チェック項目				一次評価		一次評価の説明		二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	申請件数は増加傾向にあり、住環境の整備や地域経済の波及効果大きいため、事業継続の必要性はあります。		<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	他のリフォーム事業と比較して制約が少ないため、申請しやすく有効性は高いと思われます。		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	予算額をほとんど執行しているため、目標は十分に達成しています。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している			<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				<input type="radio"/> 十分達成している			<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	県内外の自治体のノウハウを調査しているため、効率的に事業を実施しています。		<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない			<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	
	当面の課題	市民や地元業者には、好評で有効的な制度ですが、次年度の申請件数の予想が困難であるため、事業の継続・縮小の判断が難しいと思われます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	平成27年度以降は地方創生先行型交付金を活用した国庫補助事業となるため、他自治体の助成内容等を参考にしながら、適正な事業継続を図っていきます。					安全・安心な住環境づくりや、地域経済への波及効果など好評な制度です。地方創生先行型交付金の活用により、事業の継続・充実を図ってください。				
	委員会指摘事項										